

美術手帖

第13回
芸術評論
募集

1

2005
Vol.57
No.859
BT

100

美術出版社創業100年。

特集 ART BOOK GUIDE 2005

プロが読んでる美術の本 27テーマ300冊



学校PR特集 最新データ付き
アート&デザインスクールガイド

デュシャン by いうせいこう
クリスチャン・ホルスタッド
カーネギー・インターナショナル



KOSHINAKA, Masahito

越中正人

229ページ

「私を連れゆく者」より 2004

タイプCプリント 10枚組

62.5×48cm

VOICE GALLERY (京都)



越中正人「私を連れゆく者」より 2004
タイプCプリント 59×49cm

越中正人

大阪

VOICE GALLERY

10月26日—11月7日

越中正人の写真は一味違う。全体的にはハツ切サイズの15点組の連作から大全紙サイズと様々な大きさの写真を組み合わせた展示である。その中に、写真を寄せ集めて一つの作品としたものがある。作品は段ごとにひとつづきの画像で同じ場所を撮影したものが4段から5段、さらにそれぞれの段は3枚(作品によっては2枚)の写真から成る。近くで見るとモザイク状、遠くから見るとパノラマ写真が段々に並んでいるようなあんばいだ。

画面の大部分のピントがぼけている。その上、画像に歪みが生じている。越中によれば、一度撮った写真をさらに複写することにより、これらの効果が得られるという。複写の際にはカメラに接写リングを取り付け、先に撮影した写真の一部を接写する。この時、構えるカメラの角度によって画像を歪ませることができるといわれる。また、レンズの絞りを調節することにより、ピントの合う範囲を調節しているという。

このような加工の行程を経て彼が呈示するのは、人々が集う場である。駅のエスカレーターやレジヤ―施設とおぼしき場所、砂丘や雪原を訪れる人々を俯瞰しているのだが、作品によってはほとんど撮影場所がわからないほど、ぼかされているものもある。人物にいたっては個人を特定するのは困難であり、なかには影のようにぼんやりと写っているものさえある。ぼかされた部分とピントのあった部分との対比によって、既存の風景に新たに非現実的な遠近感が与えられているところが興味深い。

また、人物は縦にやや引き延ばされて本来の実在感を失い、まるでジオラマの中に配されているかのように見える。視覚的效果に加えて、風景も人物も現実の世界の脈絡から切り離され、すべて匿名性をもって扱われている点が人工的なジオラマを思わせるのである。デジタル処理を加えずに、レンズの特性を生かして丁寧に作られた一つの世界観に、写真表現の新たな魅力を発見できた。

▶オービックは、文化を守る。◀

芸術的価値の高い美術品や歴史的に意義のある文化的遺産を、多数展示・保存する美術館や博物館での紫外線対策にも、オービックは高い効力を発揮します。お問合せは下記まで。

